



地下の民

La Nación Clandestina

TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

今回上映する『地下の民』は、1960年代からアンデス先住民の価値観に基づく作品を撮り続けてきたボリビアの映画制作集団「ウカマウ」が、過去をつぐなう旅を続ける先住民男性の姿を通し、民族的アイデンティティの喪失と再生を描いた作品です。

上映日時 2026年

10月2日【金】
17:40上映開始（開場17:20、終了予定20:30）

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

プログラム

映画『地下の民』本編上映（125分）

上映後解説／トーク

太田 昌国（ラテンアメリカ研究者）

司会 友常 勉（東京外国語大学 教授）

入場無料
事前登録者
優先



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc261002form/>

※事前登録で優先入場をご利用いただけます。上記のQRコードから事前にご登録のうえ、当日は受付の際、事前登録完了メールをご提示ください。なお、事前登録はWeb限定となります。

【お問い合わせ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
（TUFS Cinema担当）

TEL 042-330-5441

平日9:00-17:00（12:00-13:00は除く）

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



主催 東京外国語大学TUFS Cinema
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

上映日

2026年10月2日(金) 17:40上映開始(17:20開場、20:30終了予定)

ラテンアメリカ映画特集

地下の民

監督 ホルヘ・サンヒネス

製作 ペアトリス・パラシオス

脚本 ホルヘ・サンヒネス

撮影 セサル・ペレス

音楽 セルヒオ・プルデンシオ

出演者 レイナルド・ユフラ オルランド・ウアンカ

デルフィーナ・ママニ ロケ・サルガド

受賞歴 '89年サンセバスチャン映画祭グランプリ

'89年ハバナ新ラテンアメリカ映画祭
外国紙グラウベル・ローシャ賞

あらすじ

首都での生活を打ち切り、異形な仮面を背負って生まれ故郷への孤独な旅を続ける男。他方、軍事クーデター阻止の拠点＝鉱山地帯へこぞって駆けつける故郷の妻や農民たち。アンデスの民俗的伝統や神話的な世界を背景に描かれた一先住民の死と再生の物語——故郷のウィルカニ村を追放されたセバスチャンは、現在は首都ラパスの片隅で棺桶職人として働いていた。ある日、セバスチャンは数年ぶりにウィルカニ村へ戻ることを決意するが、帰郷の準備をしていると軍事クーデターが起こり、市街地で銃撃戦が発生。一方、ウィルカニ村では農民たちが軍事クーデターに抵抗するべく立ちあがっていた。

1989年／ボリビア／125分／スペイン語、アイマラ語／日本語字幕

原題 *La Nación Clandestina*



本作について

本作を制作したボリビア・ウカマウ集団は、南米ボリビアで1960年代半ばから映画製作・上映活動を始めたグループ。

ボリビアの住民の60%強を占めておりながら、植民地期以来一貫して最下層で差別されてきた先住民族の主権を回復することが、白人やメスティソ(混血)の自己回復(疎外からの解放)を含めた社会全体の変革のためには必要だとの立場から、独自の製作活動を続けてきている。

初期の作品以来、ゴダールらのヨーロッパの作家にも大きな衝撃を与えてきた。集団の創造、伝統的な映画文法の解体など、その方法論も注目されている。

監督のホルヘ・サンヒネスは1936年ラパス生まれ。

チリで映画理論と技術を学ぶ。1980年以来、そのすべての作品(長篇12作+短篇2作)が日本で自主上映されているという、稀な映画作家でもある。

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00 (12:00~13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

上映後解説／トーク

太田 昌国(ラテンアメリカ研究者)

友常 勉(東京外国語大学 教授)

入場無料／事前登録者優先

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc261002form/>

